

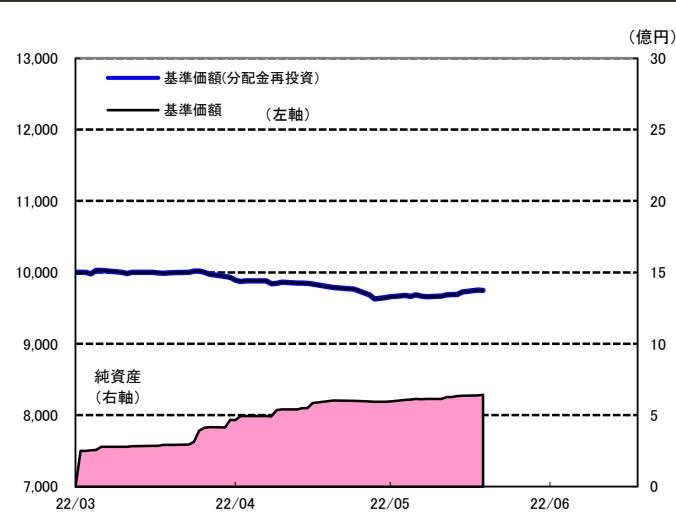


Aコース(為替ヘッジあり)の運用実績

2022年5月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 9,750 円

※分配金控除後

純資産総額 6.4 億円

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-0.9%
3カ月	-
6カ月	-
1年	-
3年	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	-2.5%	設定来累計	0 円
-----	-------	-------	-----

設定来= 2022年3月14日 以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2022年3月14日
- 信託期間 2031年9月16日まで
- 決算日 原則9月15日
(同日が休業日の場合は翌営業日)
初回決算日は2022年9月15日

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

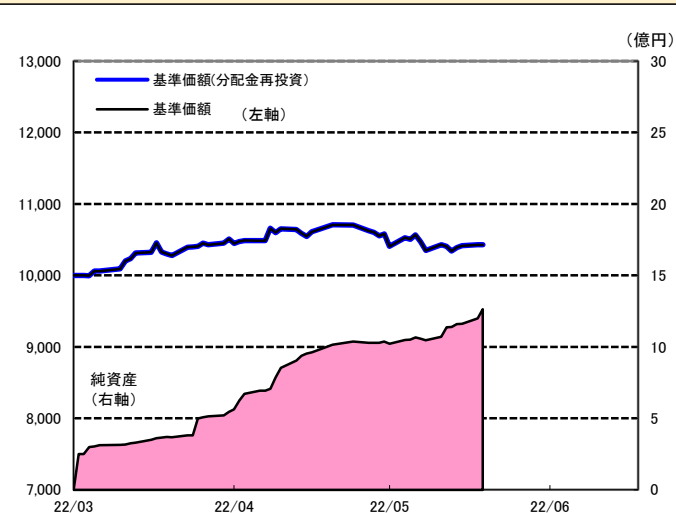
期間	分配金
1カ月	-
3カ月	-
6カ月	-
1年	-
3年	-

Bコース(為替ヘッジなし)の運用実績

2022年5月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 10,428 円

※分配金控除後

純資産総額 12.6 億円

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-1.7%
3カ月	-
6カ月	-
1年	-
3年	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	4.3%	設定来累計	0 円
-----	------	-------	-----

設定来= 2022年3月14日 以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2022年3月14日
- 信託期間 2031年9月16日まで
- 決算日 原則9月15日
(同日が休業日の場合は翌営業日)
初回決算日は2022年9月15日

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

期間	分配金
1カ月	-
3カ月	-
6カ月	-
1年	-
3年	-

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドの資産内容

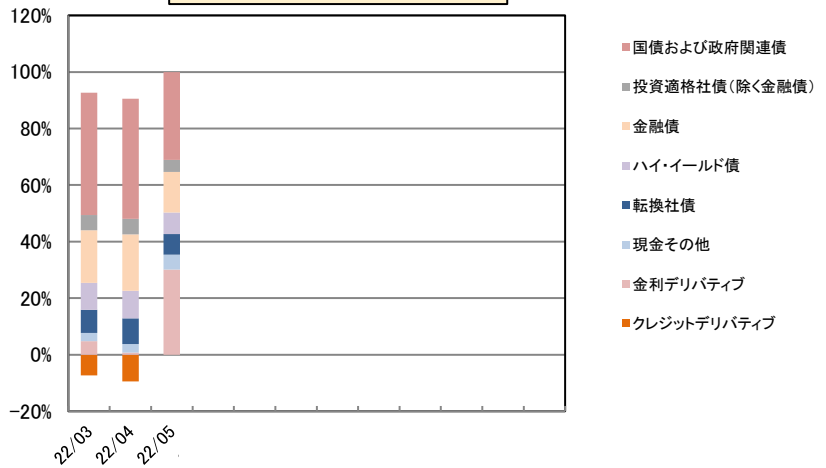
資産内容

2022年5月末現在

債券種別配分		
資産	純資産比	
	現物	デリバティブ
国債および政府関連債	44.4%	43.1%
投資適格社債(除く金融債)	6.1%	0.0%
金融債	20.7%	0.0%
ハイ・イールド債	10.9%	0.0%
転換社債	10.4%	0.0%
現金その他	7.6%	0.0%
合計	100.0%	43.1%

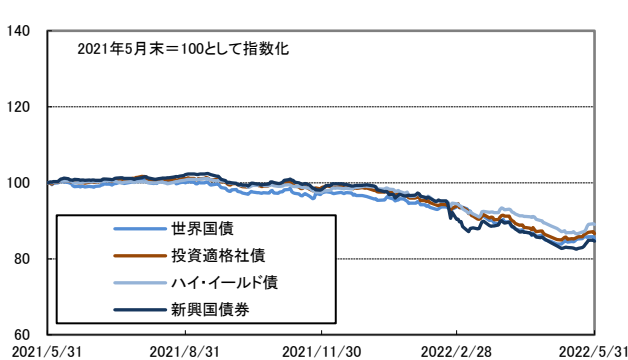
・四捨五入のため、合計があわない場合があります。
・配分比率は野村アセットマネジメントが独自に算出した値です。

債券種別配分の推移(過去1年)



(ご参考) 資産別パフォーマンスと為替レートの推移

2022年5月末現在



資産	月間騰落率 (月末ベース)
世界国債	0.1%
投資適格社債	0.3%
ハイ・イールド債	-0.4%
新興国債券	-0.6%

・米ドルベース

世界国債: FTSE世界国債インデックス
投資適格社債: ICE BofA Global Corporate Index
ハイ・イールド債: ICE BofA Global High Yield Index
新興国債券: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド
(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

- FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
 - 「ICE BofA Global Corporate Index SM/®」「ICE BofA Global High Yield Index SM/®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社(「ICEデータ」)の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。
 - JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、新興国債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。
- ・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドの資産内容と組入上位10銘柄

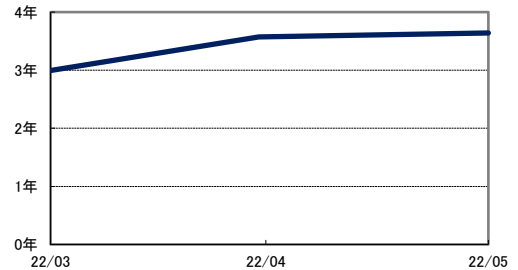
資産内容

2022年5月末現在

ポートフォリオ特性値	
平均格付	A-
平均最終利回り	4.1%
平均デュレーション	3.6年
デリバティブ比率	43.1%

・平均格付は、組入債券等について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券等に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。
 ・格付は、S&P社、ムーディーズ社、フィッチ社による格付のうち、最も高い格付によります。格付がない場合は野村アセットマネジメントが同等の信用度を有すると判断した格付によります。
 ・平均最終利回りは、組入債券等を組入比率で加重平均したものです。
 ・平均デュレーションは、組入債券とデリバティブを組入比率で加重平均したものです。
 ・デュレーションは、金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標です。
 ・デリバティブ比率は純資産に対するデリバティブのエクスポージャーの合計です。

平均デュレーションの推移



格付別配分	
格付	純資産比*
AAA	31.7%
AA	1.3%
A	4.1%
BBB	16.4%
BB	23.4%
B	15.6%
その他の資産	7.6%
合計	100.0%

・格付は、S&P社、ムーディーズ社、フィッチ社による格付のうち、最も高い格付によります。格付がない場合は野村アセットマネジメントが同等の信用度を有すると判断した格付によります。
 ※現物資産から算出しています。
 ・四捨五入のため、合計があわない場合があります。

国・地域別配分		
国・地域	純資産比	
	現物	デリバティブ
米国	37.2%	0.0%
欧州	32.1%	43.1%
日本	5.6%	0.0%
アジア	2.1%	0.0%
その他	22.9%	0.0%
合計	100.0%	43.1%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
 ・四捨五入のため、合計があわない場合があります。
 ・配分比率は野村アセットマネジメントが独自に算出した値です。

組入上位10銘柄

2022年5月末現在

銘柄名	債券種別	国・地域	純資産比
US TREAS NTS 0.125% 07/31/22	国債・政府関連債	米国	7.4%
US TREAS NTS 0.125% 05/31/23	国債・政府関連債	米国	5.5%
US TREAS NTS 0.125% 04/30/23	国債・政府関連債	米国	5.0%
US TREAS NTS 2.75% 04/30/27	国債・政府関連債	米国	4.3%
US TREAS NTS 1.75% 06/15/22	国債・政府関連債	米国	4.2%
US TREAS NTS 2.375% 03/31/29	国債・政府関連債	米国	3.8%
REPUBLIC OF S 9% 01/31/40/ZAR/	国債・政府関連債	その他	2.9%
REPUBLIC 8.875% 02/28/35/ZAR/	国債・政府関連債	その他	1.9%
VIRGIN MONEY U V/R /PERP//GBP/	金融債	欧州	1.6%
US TREAS NTS 2.75% 05/15/25	国債・政府関連債	米国	1.4%
合計			38.1%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

○米国10年国債利回りは、月間で低下(価格は上昇)となりました。上旬は4月の米雇用統計にて、非農業部門雇用者数の増加幅は予想を上回ったものの、労働参加率が低下したことを受けて、労働市場のひっ迫によるインフレ懸念が強まったことを背景に米国債の利回りは上昇(価格は下落)しました。その後は、米国株式が下落したことや、米国の経済指標が市場予想を下回ったことを受けて、高インフレとFRB(米連邦準備制度理事会)の積極的な金融引き締めが米国の景気を減速させるとの懸念が市場に広がったことを背景に、利回りは低下基調で推移しました。月間では利回りは低下となりました。

○米国ハイ・イールド債券市場は、月間で値下がりとなりました。上旬、4月の米雇用統計を受けてインフレの高止まりが意識され、米長期金利が高水準をつけたことや、新型コロナウイルス対策のため厳格な行動規制が続く中国で経済の減速懸念が強まったことなどを背景に下落しました。中旬は、4月の米CPI(消費者物価指数)が市場予想を上回る伸びとなり、積極的な金融引き締めが米景気を冷やすとの警戒感から下落基調を強めました。下旬、FOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨の内容が想定内にとどまったことなどからリスク選好的となり反発しましたが、月間では値下がりとなりました。

○新興国債券市場は、月間で値下がりとなりました。上旬、米国の労働市場のひっ迫などを背景に米長期金利が上昇したことや、新型コロナウイルス対策のため厳格な行動規制が続く中国で経済の減速懸念が強まったこと、ロシアの対ドイツ戦勝記念日を迎えてウクライナ情勢の一段の悪化が警戒されたことなどから、世界的にリスク回避が広がり下落しました。中旬は、中国景気の減速懸念が和らぐ一方で、積極的な米金融引き締めへの警戒感が重石となりほぼ横ばいで推移しました。下旬は米株高などを好感したことなどから上昇しましたが、月間では値下がりとなりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○Aコース・Bコースともに基準価額は下落しました。世界的に債券利回りが上昇したことで現物債券の保有がマイナスとなりました。

○米国を中心に先進国の中央銀行はインフレ対応に積極的な姿勢を崩していません。先月も上旬には世界的に国債利回りが上昇しました。その結果、債券・株式ともに世界的に価格が下落しました。欧州では今後の物価見通しの不透明感が高まったことなどを背景に国債利回りが上昇しました。中国では引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するために都市封鎖などの政策を積極的に行なっており、そのことが世界経済に悪影響を与える、との懸念も残りました。加えて、米国の大手小売企業が物価上昇や賃金上昇、在庫整理などを理由に市場予想を下回る決算を発表したことなども悪材料となりました。

○このような環境認識の下で、金利感応度は小幅なプラスを維持しました。米国をはじめとして金融政策によるインフレ対応は未だに始まったばかりであり、今後の動向も不確実性が高いため、小幅なプラスを維持しました。

○現物債券では、選択的に金融債やハイ・イールド債、新興国関連資産、転換社債を保有していますが、米国の超短期国債などキャッシュに近い性質を持つ資産も多く保有しました。相対的にファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が健全で、高い利回りを享受できる南アフリカなどの新興国債券への投資を継続しました。

○デリバティブ(金融派生商品)のポジションでは、月中の株価下落を受けて、短期的に株価指数プット・オプションの保有を解消しました。

今後の運用方針(2022年5月31日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国中心に中央銀行は、インフレ懸念を払しょくするために積極的に利上げを行なう姿勢を崩していません。同時に、ウクライナ情勢による世界的な供給網と資源価格への影響、中国の経済封鎖の影響などで、世界経済の不確実性は依然高いままと考えています。米国の大手小売企業が収益性に懸念を示している通り、今後も世界経済が悪化するリスクが市場で懸念される展開を予想しています。引き続きウクライナ情勢は早期に解決するとの期待は楽観的すぎると考えており、長期化する可能性を念頭に置いています。世界経済への影響が大きい米国の消費者の状況などを注視する必要があると考えています。

○ファンドでは、引き続き保守的なポジションを保持します。特に、米国の超短期国債などキャッシュに近い性質を持つ資産を多く保有して全体の変動性を抑えます。世界経済減速に対して相対的に耐性があり、魅力的な利回りを提供すると考える発行体の金融債やハイ・イールド債などを選択的に保有します。また、資源高の影響に強く、インフレ対応も可能であるとする南アフリカの国債も継続して保有します。

○ポートフォリオ全体の金利感応度はデリバティブで機動的に変更します。また、過度な金融引き締めによって景気後退懸念が高まるリスクに対応するため、期待インフレ率の低下によって恩恵を受けるポジションを臨機応変に保有する方針です。同時に不確実性への対処として、相対的に流動性の高い株価指数プット・オプションによるヘッジポジションも機動的に導入します。

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)/ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
- 世界の様々な債券および債券関連証券等を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネーインベストメント マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは投資する外国投資法人において、為替ヘッジ*を行なう「Aコース」と為替ヘッジを行わない「Bコース」から構成されています。
※「Aコース」は、投資する「ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドーRD JPYヘッジドクラス」において、原則として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行いません。
- 各々以下の外国投資法人である「ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド」および国内投資信託「野村マネーインベストメント マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
A コース	ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドーRD JPYヘッジドクラス
B コース	ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドーRD JPYクラス

- 通常の状況においては、「ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド」への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※通常の状況においては、「ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■投資対象とする外国投資法人の概要

ノムラ・ファンズ・アイルランドーグローバル・ダイナミック・ボンド・ファンドーRD JPYヘッジドクラス／RD JPYクラス
(アイルランド籍外国投資法人)

- ・世界の様々な債券および債券関連証券等を主要投資対象とし、ショートポジションも含む多様なデリバティブ取引等も活用し、インカムゲインの獲得および信託財産の成長を目指して運用を行いません。
- ・ポートフォリオの構築にあたっては、主として世界の金利、通貨、信用リスクなどの見通しに基づくトップダウンアプローチを活用します。また、資産クラスや業種における個別銘柄分析を通じたボトムアップアプローチも活用し、地域配分・業種配分等に制限を設けず、分散されたポートフォリオを構築することを目指します。
- ・RD JPYヘッジドクラスは、原則として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行いません。RD JPYクラスは、原則として為替ヘッジを行いません。

* 上記は2022年2月24日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- 分配の方針
原則、毎年9月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



投資リスク

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、債券および債券関連証券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券および債券関連証券等の価格下落や、当該債券および債券関連証券等の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、デリバティブ取引に関するリスク、取引先リスクなどがあります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2031年9月16日まで(2022年3月14日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則、9月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1口単位または1円単位(当初元本1口=1円)
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行
・ダブリンの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.078%(税抜年0.98%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率* 年1.653%程度(税込) ※ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価額証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時・スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売却益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。

<p>ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。</p> <p>野村アセットマネジメント株式会社 ★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル) <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時 ★インターネットホームページ★ http://www.nomura-am.co.jp/</p>	<p><委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]</p> <p><受託会社> 三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]</p>
--	--

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
木村証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第6号	○			
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
丸近証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第35号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。